




## サーキュラーエコノミーを学ぶ！ 大学生を対象にした 「自動車リサイクル現場見学会」開催結果 一橋大学、立命館大学、西南学院大学 学生が参加

公益財団法人自動車リサイクル促進センター（所在地：東京都港区、代表理事：細田 衛士）は、経済学を学ぶ大学生を対象にした「自動車リサイクル現場見学会」を埼玉県、岐阜県、福岡県内の解体事業者の協力のもとで開催しました。見学会には、一橋大学、立命館大学、西南学院大学の学生合計53名が参加しました。

当日、参加者はまず座学で自動車リサイクルの意義や解体事業者の役割・取り組みについて学びました。その後、工場に移動し、まだ使える部品の取り外しや保管の様子、そして重機による車体の解体や鉄・銅・アルミなどの素材への分別の様子を見学しました。

見学を終えた参加者からは、「使用済み自動車のリサイクルが精緻に行われていることを知りました」「リサイクル部品が国内だけでなく海外でも需要があることを知りました」「使用済み自動車は廃棄物ではなく、有価物であることを学びました」といった声が聞かれ、循環型社会の実現に向けた解体事業者の役割や取り組みを学ぶ貴重な機会となりました。

### < 開催概要 >

開催日時	開催場所	参加者	見学会の情景
6月13日(火) 14:30～16:30	【埼玉県】株式会社 CRS 埼玉 (代表取締役：加藤一臣)	一橋大学 学生 23名	
自動車が精緻に解体される様子を見学			
6月14日(水) 14:00～16:00	【岐阜県】KMI 株式会社 (代表取締役社長：伊藤孝雄)	立命館大学 学生 20名	
国内外に向けて出荷されるリサイクル部品を見学			
6月24日(土) 14:00～16:00	【福岡県】有限会社オートリサイ クルナカシマ福岡 (取締役社長：中島邦晃)	西南学院大学 学生 10名	
再資源化のため無駄なく部品取りされた車を見学			

(メディア関係者様のお問い合わせ先)  
 公益財団法人自動車リサイクル促進センター  
 広報・理解活動推進部  
 電話：03-5733-7144 (平日9時～17時)